

2018年9月にBCJ首席指揮者に就任した鈴木 優人の指揮により、バッハの名曲2曲を中心に構成したプログラムをお楽しみいただけます。カンタータ第147番(『心と口と行いと生活が』)は誰もが一度は耳にしたことのある有名なコーラルで知られています。「マニフィカト」は、特別に祝福された女マリアの讃歌を大編成の器楽で歌い上げます。極限まで凝縮された対位法と、千変万化のオーケストレーションがソリストや合唱と相まって万華鏡のような世界を作ります。鈴木 雅明によるオルガン独奏もお聴き逃しなく。

鈴木 優人 [指揮]

Masato Suzuki, Conductor

1981年オランダ生まれ。東京藝術大学作曲科及び同大学院古楽科修了。ハーグ王立音楽院修士課程オルガン科を首席で、同音楽院即興演奏科を荣誉賞付きで日本人として初めて修了。アムステルダム音楽院チェンバロ科にも学ぶ。第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。鍵盤奏者(チェンバロ、オルガン、ピアノ)として国内外の公演に多数出演。指揮者としてはこれまでバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)、九州交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、横浜シムフォニエッタ、読売日本交響楽団等と共演。

音楽監督を務めるアンサンブル・ジュネシスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開する。2015年のラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンではBCJの「マニフィカト」を指揮して好評を博した。アーティストック・ディレクターを務めた15年11月の東京芸術劇場開館25周年記念公演では、BCJの合唱や芸術ウインド・オーケストラとの共演など多彩なプログラムを披露、中でも東京交響楽団を指揮したメシアン「トゥランガリラ交響曲」は圧巻な演奏で、この記念すべき公演に華を添えた。

作曲家としても数々の委嘱を受けると同時に、J.S. バッハ BWV 190喪失楽章の復元や(Carus)、モーツァルト(レクイエム)の補筆・校訂が(Schott Music)、高い評価を得ている。NHK-FMの「古楽の楽しみ」に解説者としてレギュラー出演。チェンバロ・ソロのCD「rencontre」は各紙で絶賛されている。

調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。18年9月よりバッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者。



© Marco Borggreve

Masato Suzuki



バッハ・コレギウム・ジャパン [合唱&管弦楽]

Bach Collegium Japan, Chorus & Orchestra

鈴木 雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的上演を目指し、日本国内のみならずライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンセルトヘボウ等、活発な演奏活動を展開。1995年から時系列順で取り組んできた「バッハ：教会カンタータ全曲シリーズ」が2013年2月に全曲演奏・録音を完遂し、14年「ヨーロッパのグラミー賞」と称されるエコー・クラシック賞エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤ部門を受賞。13年度第45回サントリー音楽賞を鈴木 雅明と共に受賞。17年7月にはバッハ：世俗カンタータシリーズ全曲演奏・録音が完結。17年9月「モーツァルト：ミサ曲 八短調」が権威ある英国の音楽賞グラモフォン賞を受賞。18年はヨーロッパやアメリカ公演を実施し、各地で喝采を浴びた。

チケット取扱

- **Kjitara チケットセンター** TEL 011-520-1234
チケットは Kjitara ホームページからも購入できます。
- **ローソンチケット** TEL 0570-000-407 [Lコード:11972]
- **チケットぴあ** TEL 0570-02-9999 [Pコード:138-258]
- **道新プレイガイド** (北海道新聞社1階)
- **市民交流プラザ チケットセンター** 窓口 (市民交流プラザ2階)
- **玉光堂四丁目店** (南1西4)

※ Kjitara ホームページ、ローソンチケット、チケットぴあ、道新プレイガイド(オンライン)をご利用の際、別途手数料が加算されます。詳しくは各店舗にお問い合わせください。



松井 亜希 [ソプラノ]

Aki Matsui, Soprano

岩手県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程・博士課程修了。20世紀フランス近現代歌曲研究で博士号(音楽)を取得。日仏音楽コンクール・日本ドイツイットコンクール優勝、日本音楽コンクール(歌曲部門)入選、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演や録音に参加、ライオン音楽祭、ブルーメン音楽祭では「マニフィカト」(マニフィカト)のソリストを務める。東京オペラシティ・リサイタルシリーズ「B」→「C」でバッハからコンツェルターへ」に出演。広範なレパートリーとしなやかで透明度の高い歌声を生かし、多彩な活動を行っている。



クリステン・ウィットマー [ソプラノ]

Kristen Witmer, Soprano

日本生まれ。東京藝術大学にて声楽を学んだ後、明治安田文化財団奨学生としてオランダに留学。ペーター・コイ、マイケル・チャンスに師事し、デン・ハーグ王立音楽院修士課程古楽声楽科を修了。現在はバロックオペラ、オラトリオ、教会音楽、声楽アンサンブルなど幅広い分野で活躍している。バッハ・コレギウム・ジャパン、オランダバッハ協会、コレギウム・ヴォカレ・ゲント、ラ・フェニーチェ、ヴォックス・ルミニス、コレジウム・マリヤヌム、イル・ガルテリノなど古楽界一流のアンサンブルと共演する他、ユトレヒト古楽音楽祭、ザルツブルク音楽祭、バークレー音楽祭、トリビシ・パロック・フェスティバル、テジョン・パロック音楽祭などに出演。今・来シーズンは、ヘレヴェッヘ指揮でモンテヴェルディ「マドリガル」ヨーロッパツアー、ボストン古楽祭にて「バッハ家のカンタータ」、ネーデルラントライオオペラとの「オルフェオ」などが予定されている。



テリー・ウェイ [カウンターテナー]

Terry Wey, Countertenor

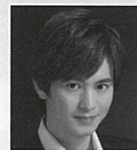
1985年生まれ。ウィーン少年合唱団に所属し、声楽の手ほどきを受ける。同団所属中からソリストとしてクレマンツィック・コンソートと共演し、コンクールでの優勝を経て国際的な舞台へと活動の場を広げていった。独逸・フォーラム誌に「古楽演奏の最高のカウンターテナー歌手の一人」と評され、主にバロック音楽のオペラや演奏会で活躍している。これまでにウィリアム・クリスティ、マルク・ミンコフスキ、リカルド・ムーティ等の指揮者、レザール・フロリサン、グルノーブル・ルージュ音楽隊などの古楽オーケストラと共演。ウィーン楽友協会、ロンドン・バービカン・センター、ニューヨーク・リンカーン・センター、マドリッド・レアル劇場、アン・デア・ウィーン劇場、パリ・シャンゼリゼ劇場等世界各地のホールに出演している。2017年ハルモニ・ムンディから初のソロアルバム「Pace e Guerra」をリリース。BCJとは17年(メサイア)で初共演、好評を博した。



櫻田 亮 [エヴァンゲリスト / テノール]

Makoto Sakurada, Evangelista / Tenor

声楽を故平野 忠彦、G.ファブリーニ、W.マッテウツィ、G.バンディエッリに師事。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞、2002年ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。アカデミア・ピッツァーティナ、ラ・ヴェネツィアーナ、ル・コンセル・ド・ナンソンなど一流の古楽アンサンブル、国内外のモダン・オーケストラ等と多数共演する他、クレモナ音楽祭「ウリッセの祖国への帰還」、エディンバラ音楽祭「オルフェオ」など主要なオペラ舞台でも活躍している。日本イタリア古楽協会運営委員長としてイタリア・バロック音楽の普及に務める。二期会会員。13年より東京藝術大学准教授。18年6月BCJヨーロッパツアーでソリストを務め、喝采を浴びた。



加来 徹 [バス]

Toru Kaku, Bass

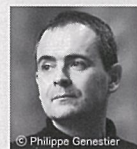
東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了。大学院アカンサス賞受賞、武蔵野奨学金を受ける。二期会オペラ研究所マスタークラスを総力で修了し、最優秀賞および川崎静子賞受賞。NEUE STIMMEN 2013国際コンクールセミファイナリスト。第20回友愛ドイツイットコンクール第2位。14年シヤネル・ピグマリオン・ディズアール・アーティスト。歌曲の演奏に定評があるほか、オペラでは日生劇場「ドン・ジョヴァンニ」タートルロール、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、二期会オペラ公演「ナツ島のアリアドネ」などに出演。CD【Kaku Toru Début】【加来徹×ドイツ歌曲】をリリース。NHK-FM【リサイタル・ノヴァ】出演。声楽を福島 敬見、勝部 太の両氏に師事。桐朋学園大学嘱託演奏員。二期会会員。



鈴木 雅明

Masaki Suzuki, Organ, Music Director of Bach Collegium Japan

1990年<バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)>を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に多く出演。極めて高い評価を積み重ねている。モダン・オーケストラへの客演指揮も多く、多彩なレパートリーを披露。2001年ドイツ連邦共和国功労勲章功勞十字小綬章、平成23年紫綬章など受賞。2012年ライプツィヒ市「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。13年度第45回サントリー音楽賞をバッハ・コレギウム・ジャパンと共に受賞。15年ドイツ・マインツ大学よりゲーテンベルク教育賞を受賞。現在、イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、シンガポール大学ヨシ・シットウ音楽院客員教授、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授、オランダ改革派神学大学名誉博士。



ジャン＝フランソワ・マドフ [トランペット]

Jean-François Madeuf, Trumpet

フランス国立リオン高等音楽学院に学び、1992年以降教鞭を執る。2001年よりバーゼル・スコラ・カントーラム教授。レザール・フロリサン、コンセル・スピリチュエル、ラ・プティット・バンドなど、各地の多数のバロック・アンサンブルと共演。バッハ・コレギウム・ジャパンとは09年エディンバラ国際音楽祭での共演以降、数多くの場で共演を重ねている。

札幌コンサートホール Kjitara
Sapporo Concert Hall

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-15 TEL 011-520-2000

この事業は札幌コンサートホールが主催しています

Kjitara Club 会員募集 **ご入会お申込みは** **TEL 011-520-2580**

交通のご案内

- 地下鉄南北線「中島公園駅」3番出口から…徒歩約7分
- 地下鉄南北線「幌平橋駅」1番出口から…徒歩約7分
- 市電「中島公園通」下車……………徒歩約4分

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がありますのでご了承ください。

※未就学児の出入場はご遠慮ください。託児サービス(有料・予約制)をご利用ください。託児申込先:札幌センターサービス TEL 011-281-0511

※お車でのご来場はご遠慮ください。地下鉄・市電をご利用ください。

札幌コンサートホール公式Twitter @Kjitara_sapporo